

加世田耕地等

## 農技連等川辺ブロック活動

## 大浦干拓に松苗270本

動を実施した。

これは、同干拓地が生産者の高齢化等により維持活動が困難な状態にあることなどから、県加世田耕地事務所をはじめ、県土地改良事業団体連合会、川辺地域市町村耕地

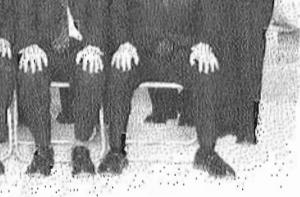
70本が緑化維持活動のローランが進める緑の募金活動より集められた収益金で購入した松の苗2

作業前の無いところはこの大浦干拓ぐらいではなかと思う。この自然と気候風土に恵まれた地域を後世に伝え残していくためにも、今日の作業を

けがや事故の無い有意義なものとしてもらいたい」と挨拶。また、大浦潟干拓第二土地改良区の窪修一理事長と、(株)ローラン加世田市本町店の有山順一オーナーから「われわれ、生産者にとって台風などの自然災害や害虫による被害はとても深刻な問題であります。今日の松苗植樹が、これから的问题であります。今日の将来、より良い干拓地域の発展につながるものとなる」ことを祈念したい」と述べた。

「今回の活動が全国で2

33カ所目の緑化支援事



作業前に写真に納まる参加者ら  
=大浦町の現地で

（株）三友（米盛郎社長）は1月29日、鹿児島市谷山港の同社敷地内で石灰などを微粉末（炭酸カルシウム製造用）として新たに導入した。処理能力は1時間当たり45トン。投資額は1億8

## 九州初の施設完成祝う

（株）三友（米盛郎社長）は1月29日、鹿児島市谷山港の同社敷地内で石灰などを微粉末（炭酸カルシウム製造用）として新たに導入した。処理能力は1時間当たり45トン。投資額は1億8



竣工式終了後、写真に納まる関係者ら  
=鹿児島市の同社で

竣工式では、同社の江夏弘康会長、米盛社長を捧げ、安全を祈願。引き続き行われた点火式では、江夏会長が始動スイッチを押す機械を稼働させ竣工を祝った。

同社は、今後さらに高まる予想される炭酸カルシウムなどの粉体需要に対し、既存の破碎機

（1、2号機）の生産能

力、設備能力では対応で

きないことから、（株）アーテックニカ社製の「KV

M M I L L (堅形ローラーミル)」を3号機と

して新たに導入した。処

理能力は1時間当たり4

5トン。投資額は1億8

000万円（本体は1億

円）。なお製造された粉

体は、道路工事の舗装材

や家畜飼料に混ぜて使用

される。

江夏会長は「今後は舗

装材等以外にも、幅広い

分野で生かせるようにな

りたい」と語った。

江夏会長は「今後は舗

装材等以外にも、幅広い

分野で生かせるようにな

りたい」と語った。